

大阪環境施設見学 & 先端エネルギー技術
関西外国公館向けツアー報告書

O-BIC 事務局

大阪・関西万博を控える大阪の環境技術に海外からも熱視線が注がれる。大阪外国企業誘致センター（O-BIC）は関西万博外国公館向けに大阪環境施設見学および先端エネルギー技術の紹介を実施した。

1. プログラム

日程： 2024年2月13日（火）

会場： 大阪広域環境施設組合舞洲工場（大阪市此花区）

主催： 大阪外国企業誘致センター（O-BIC）

言語： 日英逐次通訳

2. 活動報告

- 14：00-14：50 大阪ごみ処理施設・舞洲工場の説明付き見学
ウィーン出身の芸術家デザインによるユニークな外観で目を引き、大阪最大規模の焼却処理施設と発電設備（蒸気供給）、破碎設備を併設したごみ処理施設。
- 15：00-15：40 大阪ガス実証実験の解説（舞洲工場内会議室）
再生エネルギー由来原料とバイオガスのメタネーションから輸送、消費までのサプライチェーン構築。2025年万博会場での展示に先駆けご紹介。
- 15：40-16：20 大阪市のエネルギー施策説明（舞洲工場内会議室）
- 16：20-16：30 全体質疑応答

【当日の参加者】

スイス	在大阪スイス領事館	領事
インド	在大阪インド総領事館	総領事
タイ王国	在大阪タイ王国総領事館	総領事
米国	在大阪・神戸アメリカ合衆国総領事館	総領事
英国	在大阪英国総領事館	総領事
イタリア	在大阪イタリア総領事館	総領事
フランス	在京都フランス総領事館	総領事
インドネシア共和国	在大阪インドネシア共和国総領事館	領事（経済部）
ベトナム	在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館	領事
（同行者3名）		

大阪市	大阪市環境局	エネルギー政策担当部長
大阪市	大阪市環境局	エネルギー政策担当
大阪府	大阪府環境農林水産部	副理事（脱炭素担当）
大阪府	大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課 気候変動緩和・適応策推進グループ	課長補佐
大阪市	大阪市経済戦略局立地交流推進部 立地推進担当	課長
大阪市	大阪市経済戦略局立地交流推進部 立地推進担当 兼 都市間交流担当	課長代理
大阪市	大阪市経済戦略局立地交流推進部 立地推進担当	担当係長
大阪ガス	ガス製造・発電・エンジニアリング事業部 ガス製造・エンジニアリング部 カーボンニュートラルメタン開発チーム	マネージャー
舞洲工場	大阪広域環境施設組合	施設部長
舞洲工場	大阪広域環境施設組合	舞洲工場 工場長
主催者	大阪外国企業誘致センター（O-BIC）兼 大阪商工会議所国際部	事務局長 兼 部長
主催者	大阪外国企業誘致センター（O-BIC）兼 大阪商工会議所国際部	事務局次長 兼 課長

3. 所感

- ・SDGs や環境が重要なテーマとなる大阪・関西万博を通じて、開催地・大阪における環境への取り組みや、在阪企業が持つ優れた環境技術を知りたいという、問い合わせが海外から増加することが見込まれる。大阪の環境分野における先端技術や取り組みを各国へのメッセンジャーとなる総領事に周知できたことは意義が大きい。
- ・関西総領事団団長の英国キャロリン・デービッドソン総領事からは「万博会場での実証実験」や「再生可能エネルギーから生成する水素」への関心の声が寄せられるなど、2050年脱炭素社会「ゼロカーボン おおさか」の実現に向けた取り組みが注目されている。
- ・大阪・関西万博の環境関連の取り組み、大阪の優れた環境技術などを紹介することで、海外の企業からの技術連携の提案などへとつなげるきっかけにしたい。

4. 今後に向けて

- ・海外から注目が集まっている今、大阪・関西万博をきっかけとして、日本企業・大阪企業の環境への取り組みを世界に発信したい。
- ・在関西総領事はすでに様々な施設を視察済みであることを考慮して今後のイベント運営を行いたい。

(視察会の様子)



舞洲工場見学①



舞洲工場見学②



環境技術説明会①



環境技術説明会②



舞洲工場



集合写真

【総領事団から寄せられた質問内容】

- Q1. 万博会場での実証実験について
- Q2. 再生可能エネルギーから生成できる水素について
- Q3. 既存のエネルギーと水素エネルギーの使い分けやバイオガスをそのまま使用することの可能性について？
- Q4. 水素を利用することでカーボンニュートラル実現可能性が高まることについて

以上